越美北線・バス　ニュースレター

えつみ日和

令和8年10月　第2号
【FREE】

イラスト・題字
：イラストレーター
伊藤ゆか（東郷地区）

越美北線と乗合バスに
乗る運動を進める会



令和８年８月２９日からの大雨により越美北線が運休に

今回の豪雨により、越美北線では土砂が流出し、線路を支える枕木ごと浮き上がってしまうなど、災害発生時点の発表では、復旧までに約１ヶ月を要する甚大な被害が発生しました。

今回の運休により、突然利用できなくなったことで、あらためて越美北線の存在の大きさや必要性を感じた方も多かったのではないでしょうか。

９月３日、４日には福井県の臨時バスが運行されたほか、９月７日からはＪＲによる代行バスの運行が始まるなど、関係者が一丸となり復旧に向けて取り組みました。

令和７年度には 278,205人の方々に利用され、通勤や通学など地域の重要な移動手段として長年親しまれている越美北線。これからも地域全体で支えていくためにも、年に３回越美北線に乗車しましょう。

8月31日(月) 越前薬師駅周辺で撮影

色づく沿線　秋の越美北線で出かけよう

秋が深まり、越美北線の沿線が美しい紅葉に彩られる季節がやってきます。

車窓から眺める福井市美山地区や大野市の山々、特に九頭竜峡の紅葉は絶景です。柿ケ島～勝原駅間では、列車の徐行運転が実施されるため（ゆっくり走ってくれます）、窓いっぱいに広がる絶景をじっくりと楽しむことができます。

九頭竜湖駅では、名物のまいたけ弁当がおすすめ。また、九頭竜湖駅から九頭竜湖畔など観光スポットへの移動は、和泉地区のタクシー「いずみタクシー」が利用でき、秋の奥越をスムーズに巡ることができます。

車窓から流れる風景を眺めながらの旅は、鉄道ならではの特別な体験です。この秋は、ぜひご家族や友人と一緒に越美北線でお出かけしてみませんか。



沿線で開催　秋のイベント（一部掲載）

第47回九頭竜紅葉まつり　～つながる、広がる！中部縦貫自動車道～

10月31日（土） 11月1日（日）　9：00　～　15：00（両日）

場所：九頭竜国民休養地　🚃九頭竜湖駅から徒歩17分　　市営バス和泉大野線でもアクセス可能！

越前おおの新そばまつり2026

11/14（土）　9：45～16：00
15（日）　10：00～15：00

場所：大野市役所駐車場

🚃越前大野駅から徒歩15分　🚌大野六間停留所から徒歩 7分

越美北線または京福バスに乗って来場で
そば１杯引換券プレゼント！

第35回そばまつりinみやま

10/25（日）　10：00～15：30

場所：みやま木ごころ文化の郷

🚃美山駅から徒歩 9分　🚌美山駅停留所から徒歩 9分

越美北線に乗って来場で粗品と
100円分の利用券プレゼント！

地域に愛される越美北線

「花咲く越美北線」美化運動として、越美北線沿線や駅舎周辺の美化にご協力いただいています。作業や手入れはボランティアによるものです。皆様の心温まる協力のおかげで私たちは気持ちよく越美北線に乗車できています。

『陽明町４丁目』

20年以上にわたり、線路沿いの草刈りを継続していただいています。毎回トラックがいっぱいになるほどの作業です。





『上中野老人会第二中野クラブ』

北大野駅前の花壇の手入れとして、土作りから花の植栽、毎日の水やりまで細やかなお世話をしていただいています。

『五箇地区むらづくり推進協議会』

勝原駅周辺の花桃の管理や花の植栽をしていただいています。花桃シーズンには公園に募金箱を設置。集まった募金は５年連続で当会に寄付いただいており、計約63万円になりました。







『いずみらい』

九頭竜湖駅前の花壇の手入れとして、春に花の植栽、秋に球根の植え付けを行っていただいています。

「３乗運動」実施中！

現在開催中の「乗って！集めて！もらう！３乗キャンペーン」には、県外からも多くのご応募が寄せられており、地域の枠を超えて越美北線やバスの魅力を感じていただけています。

越美北線やバスの魅力が一段と増すこの秋も、３乗キャンペーンに参加して、乗って・応援して・魅力を広める「３乗」で一緒に盛り上げましょう！

３乗キャンペーン詳細



＜ご自由にお持ち帰りください＞

はちやの乗り物コラム

2024年３月の北陸新幹線敦賀延伸から、およそ２年半が経過した。帰省ルートは米原経由から新幹線経由へと、また、きっぷの買い方も駅の券売機からスマホアプリによるチケットレスへと大きく変わった。福井駅には新幹線駅舎ができ、新たな観光案内所や商業施設「くるふ福井駅」が生まれ、以前とはすっかり様変わりした。ハピラインはもちろん福井鉄道もえちぜん鉄道も京福バスも交通系ICカードに対応し、乗り方そのものにも変化が出ている。

そうしたなかで、福井駅の改札が有人から自動に替わったことを除けば、あまり変わっていないのが越美北線である。交通系ICカード非対応のため券売機できっぷを買う時間を見越して余裕を持つ必要があること、乗り場へ向かう階段が他より狭く、エスカレーターがないことは変わらない。変化といえば、階段脇に本広報誌と「３乗キャンペーン」の応募はがき・スタンプが設置されたことくらいだろうか。

登り切った先、かつて特急が発着していた１番乗り場には、今はハピラインの普通列車が発車。電光掲示の真ん中にあったアナログ時計は撤去され、謎の「ハピラインロゴ」シールが貼られ、駅名標は白いシールで覆われ、ホームは幾分すっきりした印象になった。それでも「切り欠き式」と呼ばれる２番乗り場が越美北線の乗り場であること、キハ１２０形の気動車が発着することは、私が定期券を持っていた高校生のころから変わらない。

そして、もっとも変わらないのが車内の「高校生フォーメーション」である。８月下旬の平日午後、福井から越前東郷まで乗車した。夏休み中でも部活帰りの高校生で座席はほぼ埋まり、立ち客も出ていた。参考書を開く子、並び席でおしゃべりする子、最後部に仲間で固まる子など、車内の様子は、自分がその構成要員の一人だった20年前と一切変わっていない。誰に教わったわけでもないのに連綿と受け継がれる、この「汽車通学文化」はいったい何なのか。答えの出ない謎である。







福井市東郷地区出身　旅の文筆家　蜂谷あす美

越美北線で活躍した名機ハチロク ～大野で出会える貴重な名機～

越美北線が九頭竜湖駅に着く直前、車窓左手に蒸気機関車が見えてくる。

昭和35年12月15日に福井から勝原間が開通（九頭竜湖駅までの全線開通は昭和47年12月15日）後、昭和40年10月15日の貨物営業開始から昭和48年５月27日の引退まで活躍した、８６２０型蒸気機関車（型式にちなみ、ハチロクの愛称で呼ばれている）である。越美北線には８６２０型蒸気機関車が３両（８８６３５・８８６２３・２８６５１）配備されたが、前２両は解体され、現存するのはこの２８６５１号機のみである。

和泉地区（旧和泉村）にあった日本有数の亜鉛鉱山「中竜（なかたつ）鉱山」からの鉱物資源輸送や九頭竜ダムをはじめとする和泉地区での電源開発物資輸送で活躍したほか、昭和43年10月２日には、一巡目福井国体にご臨席された昭和天皇・皇后の特別列車（お召列車）が越美北線に入線した折、牽引した蒸気機関車にも選定され（越美北線お召列車の機関車は８６２０型２両をつないだ重連で運行された）ロイヤルエンジンとしての偉業も持つ栄光の機関車でもある。

廃車後の昭和48年８月31日、越美北線で最後まで活躍したことやお召列車牽引の功績から、当時の和泉村長と旧国鉄との間で無償貸与の契約がなされ、福井からディーゼル機関車で九頭竜湖駅に回送され、８０ｔおよび５ｔクレーン車と６０ｔトレーラーを使用して現在地に運ばれ設置された。

現在では決して目立つ存在ではないが、ぜひ地元に貢献した名機として、一度、ご覧いただきたい。また、有効な観光資源として、いつまでも守り続けていってほしいと強く願う。ちなみに余談であるが、鬼滅の刃「無限列車編」に出てくる列車の機関車は時代考証から、この型式である。

大野市鉄道愛好家　木下大悟



（２８６５１号機略歴）

製造：大正８年１２月５日

製作所：大阪汽車製造会社

主な配属区：
広島鉄道管理――浜田・小郡・津和野
大阪鉄道管理局――米子
名古屋鉄道管理局―多治見・稲沢・米原
長野鉄道管理局――松本・上諏訪
金沢鉄道管理局――福井

福井機関区配属：昭和４１年６月１２日

廃車：昭和４８年７月５日

総走行距離：２８２万６７９．１ｋｍ（地球７１周分）

特長：排煙板が取り付けられていないため、「初期型ハチロク」として全国のＳＬファンから知られている。

皆様からの「想い」と「写真」を引き続き募集しています！

愛知大学　キャリアデザインプログラム

令和７年の秋に、大野市と愛知大学が協力し「福井県大野市を公共交通機関で楽しむ旅！」と題し、学生が大野市内の公共交通機関を用いた旅行プランと発信素材を作成する取り組みが行われました。越美北線に乗車している様子など、秋の魅力が詰まった発信素材となっていますので是非ご覧ください。





Ｗｅｂ記事
ｎｏｔｅ

ＹｏｕＴｕｂｅ

バス運転体験会が開催されました！

バス運転手の仕事を身近に感じてもらうため、７月26日に大野市役所駐車場でバス運転体験会が開催され、11人の方が参加しました。広い市役所の駐車場を使って、大型バスを運転しました。

小さい頃から「バスを運転してみたい」とずっと憧れていました。普段は「まちなか循環バス」を利用しているのですが、実際に自分が運転席に座ってハンドルを握ってみると、思っていた以上に難しかったです。

大野高校２年　木下さん



仁愛女子短期大学　さわらぼ鉄道部

今年度、当会の事業「みんなの力で越美北線盛り上げ事業」で仁愛女子短期大学のさわらぼ鉄道部に協力させていただいています。車窓マップの作成を目標に活動を行っています。

【発案者　仁愛女子短期大学２年生　野村さんからコメント】

さわらぼ鉄道部では、越美北線の魅力を発信する活動を行っています。YouTubeやＸに投稿するだけでなく、実際に自分たちでワークショップを開催し、様々な人が越美北線に興味を持ってもらえるような活動にも取り組んでいます。

私自身、越美北線は小学生のころから利用しており、思い出が詰まった身近な存在です。車窓から見える景色や、列車に乗って出かけるときのワクワク感など、越美北線には私にとって大切な思い出がたくさんあります。だからこそ、今度は私たちが越美北線の魅力を発信する側として、たくさんの人にその良さを知ってもらいたいと思っています。活動をする中で、私たち自身も越美北線に乗り、これまで気づかなかった景色や地域の魅力を発見することができました。また、調査を行う中で、越美北線が単なる交通手段ではなく、地域の暮らしや思いをつないできた大切な存在であることを改めて感じています。私たちの活動をきっかけに、少しでも多くの方に越美北線の魅力を知ってもらい、「乗ってみたい」という思いにつながったら嬉しいです。

Ｘ
越美北線沿線だより

ＹｏｕＴｕｂｅ
さわらぼ鉄道部



6/27 ワークショップの様子



「乗る会」Instagram アカウント

Instagramアカウントを開設し、情報発信しています。
当会のイベント等告知していますので、フォローをお願いします。
ご意見などお気軽にお問い合わせください。

ホームページ

イベント情報は、福井市、大野市の市報や、ホームページに掲載しています。イベントの詳細が掲載されていますので、こちらもご確認ください

☆このニュースレターは、越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会が企画・作成し、文責を負っています。
お問い合わせは下記連絡先へお願いします。

〒９１２－８６６６　大野市天神町１－１
大野市役所交通住宅まちづくり課内　℡ 0779-64-4815
Mail koutu@city.fukui-ono.lg.jp

＜ご自由にお持ち帰りください＞